



学 会 通 信

第 97 号

2021 年 1 月 27 日発行

目次

2020 年度 第 27 回年次大会日本教育メディア学会年次大会の御礼 ……	2
第 2 回研究委員会 研究会のご報告 ……	3
理事会（定例） 議事録 ……	5
定例総会 議事録 ……	7
論文投稿のご案内 ……	8
学会費納入のお願い，入会者・退会者 ……	8

2020年度 第27回日本教育メディア学会年次大会の御礼

大会実行委員長 市川 尚 (岩手県立大学)

第27回年次大会は、2020年10月17日(土)・18日(日)の2日間で開催されました。開催校は岩手県立大学でしたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、オンライン開催となりました。参加登録者にオンライン開催用サイトのアカウントを送付し、そのサイトからZoomにアクセスしてもらうことで、大会にご参加いただきました。本学会の年次大会としては、オンライン開催は初試みということもあり、コンパクトな開催には致しましたが、168名の参加登録がございました。

本大会では、2つの大会企画を実施しました。1日目最初のオープニングセッションとして、「教育現場を触発する教育メディア研究」をテーマに、稲垣忠氏(東北学院大学)のコーディネートのもとで、学会長の小柳和喜雄氏(関西大学)、木村明憲氏(京都市立梅小路小学校)にご登壇いただきました。Zoomのブレイクアウトルームを利用してグループに分かれての意見交換もなされました。2日目には、「初等中等教育におけるオンライン授業とデジタルリテラシー」と題したシンポジウムを行い、話題提供として、三浦敏氏(石巻市立大原小学校)、佐々木良彰氏(富谷市立あけの平小学校)、金森千春氏(芝浦工業大学附属中学高等学校)、指定討論者として堀田龍也氏(東北大学)にご登壇いただきました。司会は市川が務めました。

課題研究では、「GIGA スクール時代のICT環境・開発・活用」「コロナ禍における高等教育でのオンライン授業の実践と課題」「メディア・リテラシーを育む学習環境の多様性と新展開」の3つのテーマを設定し、コーディネーターの進行のもとで、合計12件の発表があり、活発な議論が交わされました。一般研究発表では、並行4セッションで、合計28件の発表がありました。また、企画委員会特別セッション「教師のセルフスタディ」も開催され3件の発表と総合討論がありました。



オンライン開催用サイト



最後のリフレクション時の集合キャプチャ

オンライン開催とはなりましたが、上記の開催内容を振り返りますと、今まさに教育にとって必要なところが議論できたのではないかと思います。本大会も昨年度同様に、非会員の現職教員については、大会参加費を無料としましたが、オンライン開催の参加のしやすさもあってか、多くのご参加をいただくことができました。

本大会につきましては、申し込み段階から当日も含めて、ご不便をおかけしたことも多かったと存じま

すが、運営にご協力いただきました皆様、ご参加いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。皆様に暖かいご支援をいただきながら、無事に終了することができました。ご参加いただいた皆様にとって本大会が有意義な時間となっていましたら幸いです。

今後の本学会の益々の発展を祈念しつつ、次期年次大会開催の早稲田大学にバトンを渡したいと思えます。

2021年度 第28回 日本教育メディア学会年次大会に関する重要なお知らせ

年次大会委員長 稲垣忠（東北学院大学）

東京・早稲田大学（早稲田キャンパス）にて開催予定の2021年度の年次大会ですが、10月10日（日）・11日（月・祝）に開催と総会にてご案内しました。その後、オリンピック開催に関わる特別措置として祝日に変更になり、10月11日が平日となりました。検討の結果、12月18日（土）・19日（日）へと移動することとしました。ご承知の程よろしく申し上げます。なお、現時点では対面開催となるかオンライン開催とするかについては未定です。

第2回研究委員会 研究会のご報告

テーマ「地域連携の学びとメディア／一般」

2020年12月19日（土）、今年度の第2回研究会が、オンライン（Zoom）にて開催されました。オンラインによる研究会は、今年度第1回に引き続き2回目となりました。

各地で教育機関と地域の様々な組織や団体が連携し、子どもたちの学びを学内外で支援する取り組みが行われていることから、本研究会では、地域連携における学びやメディアの位置づけ、実践のデザインなど、その多様性を共有し情報交換するため、教育機関と地域との連携を行っている研究・実践を募集しました。A会場で6件、B会場で6件の、合わせて12件の研究報告があり、当日は、37名の方々にご参加いただきました。

午後の研究会に先立ち、午前10時～11時半に、テーマ関連企画として「愛知県児童総合センター（ACC）」のオンライン・エクスカージョンをZoomにて開催しました。ACCは、地域の大学や博物館、アーティストと連携して、独自の「遊び」のプログラムを開発し、地域の子どものために提供してきました。前半は施設内を手持ちカメラ（スマホ）を通してめぐりながら、館内の遊びの仕掛けや背景にある考え方を紹介していただきました。後半は、過去のプロジェクトや地域連携の経緯などを、豊富な資料でご紹介いただきました。参加者は8名とアットホームな規模で、参加者からは活発な質問が出されました。オンラインであっても、遠方の地域のリソースに触れられた本企画となりました。

続いて午後の研究会では、A会場では、主に高等教育において大学あるいは大学教員が、博物館や児童館、教育委員会と連携し、それぞれの専門領域の中で、学生の主体的な参加や学びを促す実践の成果に関する発表や、コロナ禍によるオンラインで地域とのつながりを目指した実践のデザインに関する発表が行われました。

またB会場では、家庭学習と連携した放送番組を活用した教育的効果や、社会科番組の内容構造の変遷、臨時休校・休園時の家庭での「デジタル学習教材」利用調査結果に関する発表などのNHK学校放送に関連する発表や、WebGIS「地理院地図」を活用した小学生向けワークショップの企画と実践、地域博物館による教育普及活動、科学館による科学的な視座の獲得と地域の魅力を感じとるワークショップの実践など、地域素材を活かした実践に関する発表が行われました。

両会場ともに、オンラインでのトラブルもほとんどなく、座長の的確な進行のおかげで滞りなく進み、活発な質疑応答が行われました。さらに研究会の終了後の「地域連携における学びとメディア」に関する研究の情報交換では、午前中のオンライン・エクスカージョンや午後の発表に関して情報交換が行われ、今後のオンライン開催の可能性についても話題が広がりました。対面で予定していた研究会ではありましたが、オンラインでも充実した会となりました。改めて、ご参加・ご発表いただきました皆様に、感謝申し上げます。ありがとうございました。



文責：亀井美穂子（梶山女学園大学文化情報学部）

次回、2021年度第1回研究会は、6月中旬から7月中旬で開催予定です（担当：富山大学・黒田卓先生）。

理事会（定例） 議事録

第9期 第5回理事会（定例） 議事録

[日 時] 2020年10月17日（土）10:00-12:00

[場 所] Zoomによるオンライン会議

[出席者] 会長，理事24名，監事1名

会長 小柳和喜雄

理事 宇治橋祐之，中橋雄，永田智子，泰山裕，鈴木克明，久保田賢一，堀田博史，後藤康志，山本良太，関戸康友，寺嶋浩介，Insung Jung，村上正行，黒上晴夫，影戸誠，渡辺雄貴，岸磨貴子，今野貴之，中川一史，市川尚，齋藤ひとみ，佐藤慎一，稲垣忠，堀田龍也
岩崎千晶（欠席）

監事 佐々木輝美 ，浦野弘（欠席）

事務局 池尻良平

<報告・審議事項>

(1) 入会者・退会者・除籍者について（事務局）

泰山副事務局長から，前回理事会以降の入会者・退会者について説明があり，審議の結果承認された。

(2) 会計監査について（事務局）

永田事務局長から，コロナの影響で遅れていた会計監査の完了について報告があり，佐々木監事より会計監査の経緯について報告があり，承認された。

(3) 会員システムについて（事務局）

池尻事務局員より，会員システムについて，導入状況について報告があった。

それに合わせて，佐々木監事より会費納入状況や余剰予算の状況について報告があり，検討の必要がある旨，意見があった。

(4) 編集委員会（国内担当）

黒上編集委員長（国内担当）より，教育メディア研究28巻2号の進行状況について，報告があった。査読プロセスについての意見があり，それに対応して査読プロセスを再検討している旨，報告があった。また投稿規定の修正について，参考文献のフォーマットについて，投稿規定に齟齬があることが明らかになり，英文例はAPAフォーマット，日本語文献は教育工学会準拠として改定する旨，報告があり，審議の結果承認された。

(5) 編集委員会（国際担当）

佐藤編集委員長（国際担当）より、資料に基づいて国際ジャーナルの発刊状況について報告があった。

(6) 研究委員会（国内担当）

堀田研究委員長（国内担当）より、研究会の実施状況、今後の予定について報告があった。発表の募集についてご協力いただきたい旨、報告があった。

(7) 研究委員会（国際担当）

岸研究委員長（国際担当）より、ICoME2020 について開催報告があった。

検討事項として、今年度取得した Web サーバー、ドメインについて次年度まで契約を維持すること、費用は ICoME2020 の経費より支弁する旨、報告があり、審議の結果承認された。関連して、今後のサーバー、ドメインを各国で共有する方向性で検討を進める旨、報告があった。

また、今回の経費について報告があり、経費は削減されたが、マンパワーに頼った部分が大きく、運営方法の検討の必要性についても報告があった。理事より、ボランティアとして働いてもらった分について、謝金を支払った方が良いのではないかという意見があった。対して、支払いの線引きが難しいため、一括してボランティアとして対応した旨、報告があった。

また、今後の運営方針について、意見交換が行われ、今後検討していくことで了承された。

(8) 年次大会委員会

稲垣年次大会委員長より、大会の運営状況について報告がなされた。また来年度の実施について、関東地区での開催ということで検討し、早稲田大学を会場に 10 月 10 日（日）～11 日（月）の開催を予定している旨、報告された。

(9) 広報委員会

渡辺広報委員長より、Web 更新、ニュースレター等の更新状況について報告があった。

(10) 企画委員会

寺嶋企画委員長より、企画セッションの準備状況について報告があった。また、今後の企画についての検討状況について報告があった。

(11) 日本教育メディア学会論文賞選考委員会

中川選考委員長より、論文賞の選考過程について、報告があった。

(12) 日本学術会議新会員候補者任命見送りに係る日本教育メディア学会の対応について

小柳会長より、本件の対応について、理事によるメール審議結果をもとに、声明文の原案が示され、議論がなされた。理事会として声明を出す方向で進める旨、了承された。

また、日本教育学会の声明への賛同について、審議の結果、学会として賛同する方向で進める旨、承認された。

(13) その他

- ・次回理事会が2021年4月17日（土）または18日（日）に開催予定であることが報告された。
- ・永田事務局長よりOJSインシデントの対応について、報告がなされた。また、対応状況について担当理事より報告があった。

以上

定例総会 議事録

2020年度 定例総会 議事録

1.日 時：2020年10月17日（土）12：30-13：20（年次大会第1日目）

2.場 所：オンライン開催

3.内 容：

(1) 議案

議事に先立ち、永田事務局長から、有効な委任状（議決権を議長に委任）が43通電子総会システムより提出されているため、学会会則第44条に従って2019年度定例総会が成立していることが報告された。また、会場校を代表して市川大会実行委員長より挨拶があった。

第1号議案：2019年度事業報告及び収支決算承認の件

永田事務局長より、第1号議案として機関誌発行、年次大会の開催、学术交流等、2019年度事業報告及び収支決算（案）が報告された。佐々木監事より、通帳、領収書、帳簿を確認した結果、正確であったことが報告され、審議の結果、2019年度事業報告及び収支決算（案）について、異議なく承認された。

第2号議案：2020年度事業計画及び収支予算承認の件

永田事務局長より、第2号議案として、機関誌発行、年次大会の開催、学术交流等、2020年度収支予算（案）が報告された。審議の結果、2020年度事業計画及び収支予算（案）について、異議なく承認された。

(2) 報告事項

①表彰「日本教育メディア学会論文賞」審査報告と結果報告

中川日本教育メディア学会論文賞選考委員会委員長より「日本教育メディア学会論文」審議経過と結果が報告され、表彰が行われた。

受賞者名：澁川幸加，田口真奈，西岡貞一

論文名：反転授業におけるワークシートの利用が対面授業時の学びへ与える影響 対面授業時の発話内容と深い学習アプローチに着目して

掲載論文誌：教育メディア研究 第26巻第1号（研究論文）

②2020年度年次大会の件

2021年度年次大会が、2021年10月10日～11日に早稲田大学での開催を検討していることが報告された。

③日本学術会議新会員候補者任命見送りに係る日本教育メディア学会の対応について

理事会での承認内容を読み上げ、会員に報告した。

論文投稿のご案内

編集委員会

〆切：随時

『教育メディア研究』では、一般論文を広く募集しています。〆切は特にありません。随時受け付け、その都度、査読プロセスを始めています。多くの会員の方からの投稿を期待しています。

学会費納入のお願い、入会者・退会者

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日）の年会費（正会員7,000円，学生会員4,000円）が未納の方は、会員システムからお手続きください。

論文誌は、会費が納められている会員に対してのみ発送しております。まだ納付されていない会員につきましては、納められたことを確認した後、発送いたします。

銀行振り込みをご希望される場合は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

- ※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合、手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、学生・大学院生（社会人学生を除く）です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください（スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます）。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、会員マイページにログインの上、登録情報の確認をよろしくお願いいたします。

また、まだ会員システムからマイページへのログイン登録がお済みでない方も、この機会にマイページ登録をお願いいたします。

【入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員（3名）・・・福田匡孝，小野永貴，カッティング美紀

新入会員・学生会員（3名）・・・斉田俊平，松村菜摘子，村上唯斗

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条の改正が承認されました。改正された規定では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。

会費の納入状況についてご不明な点がございましたら、事務局（office@jaems.jp）までご連絡ください。

第9条

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

（1）正会員，学生会員，団体会員ならびに購読会員が，会費を3年間滞納したとき，その年度末をもって除籍され，会員の資格を喪失する。

（2）除籍された元会員が再入会するとき，滞納会費の納入を要する。

会員総数 347名・16団体

名誉会員：4名

正会員：305名

学生会員：38名

団体会員：6団体

購読会員：10団体

(令和3年1月14日現在)

日本教育メディア学会 事務局

〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1

兵庫教育大学 永田智子 研究室内

E-mail : office@jaems.jp

学会ホームページ URL : <http://jaems.jp/>

広報委員会

委員長 渡辺雄貴 (東京理科大学)

副委員長 岩崎千晶 (関西大学)

委員 井ノ上憲司 (大阪大学)

遠海友紀 (東北学院大学)

竹中喜一 (愛媛大学)

多田泰紘 (関西大学)